

平成25年8月8日

各 位

会 社 名 株式会社ウィル  
 代 表 者 名 代表取締役社長 岡本 俊人  
 (コード番号：3241)  
 問 合 せ 先 代表取締役 友野 泉  
 役 職 ・ 氏 名  
 電 話 0797-74-7272

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年2月12日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 平成25年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成25年1月1日～平成25年6月30日)  
 (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,730	163	145	91	円 銭 8 06
今回修正予想(B)	1,374	177	157	126	11 16
増減額(B-A)	△356	14	12	35	—
増減率(%)	△20.6	8.7	8.6	38.5	—
(ご参考)前年同期実績 (平成24年12月期第2四半期)	1,438	129	113	90	8 04

(注) 当社は、平成25年1月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、(ご参考)前年同期実績の「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### 2. 業績予想修正の理由

##### (1) 第2四半期

当第2四半期連結累計期間は、流通事業を基軸とした事業間リレーションを活かしたワンストップ体制の強化に取り組んでまいりました。

まず、当社オリジナルの物件検索サイトをはじめとしたインターネット媒体に経営資源を投下し続けた結果、グループ全体の集客窓口である流通店舗への来店顧客数は前年同期比で18.3%増加するなど、想定を超える営業機会を確保いたしました。これにより、流通事業における住宅購入の仲介件数が増加すると同時に、リフォームの引渡件数並びにファイナンシャルプランニング業務の取扱件数も増加するなど、「住まいのワンストップサービス」の特徴であるシナジー効果が想定を超えて現れました。

また、フィービジネスの一つである受託販売事業において注力している新築戸建の販売代理件数が好調に推移したことも、収益面を押し上げる要因となりました。

一方で、開発分譲事業におきましては、豊中市の中規模戸建分譲プロジェクト（34戸）について、行政機関の開発行為に関する許認可取得に時間を要したため、当初計画に対して、仕入時期等に若干の遅れが生じました。

これらの内容を主たる要因として、戸建分譲の引渡件数が計画を下回った一方、利益率の高い「フィービジネスとリフォーム」の業績が計画を上回った結果、第2四半期連結累計期間の業績予想数値を修正いたしました。

## （2）通期

通期の見通しは、収益基盤の柱である事業群「フィービジネスとリフォーム」の業績は引き続き堅調に推移するものと予想しております。特に、リフォーム事業におきましては、第2四半期末時点で382百万円の受注残高があるため、第2四半期連結累計期間の業績とあわせて、通期では既に、前年一年間の売上高に対する95.5%の引渡しを予定していることとなります。

なお、豊中市の中規模戸建分譲プロジェクト（34戸）については、仕入時期等に若干の遅れが生じたものの、すでに開発行為に関する許認可を取得し、宅地造成工事が完了していることから、第3四半期の販売開始を予定しております。

以上のことを踏まえて、現時点において平成25年2月12日に公表した通期業績予想を変更しておりません。

以上

ご注意：上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。  
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。